

	1学期の成果	2学期以降への課題	具体的な改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読書に親しみ、進んで本を読むことができた。 ○丁寧な言葉遣いで発表することができた。 ○「いつ・どこで・なにを・どうした」を考えて、簡単な文章を書くことができた。 ○物語や説明文の内容の大体を読み取ったり、登場人物の気持ちを考えたりすることができた。 ○口形に気を付けて楽しく音読ができた。 ○ひらがな五十音を書くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろなジャンルの本を紹介し、物語の楽しさや表現の豊かさを味わわせる。 ○大事なことを落とさずに聞いたり話したりできるようにする。 ○自分の思ったことや伝えたいことを文に書けるようにする。 ○助詞や長音、拗音、促音を正しく使って文を書けるようにする。 ○場面の様子について想像を広げながら読み、考えたことを交流し合う。 ○ひらがなを正しく丁寧に書いたり、読んだりできるようにする。新出漢字と片仮名を正しく丁寧に書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○みどり小読書ノートを活用したり、教材文に関連する本を紹介したりして、本に親しむ機会をさらに設ける。 ○頑張ったことや楽しかったことなどを話す機会を継続的に設け、友達の発表を聞きながら、自己の考えを広げ深められるように指導する。 ○体験したことや発見したことをよく思い出し、順序に気を付けて書くようにパターンを示しながら指導する。 ○文や物語の視写を通して、助詞などの正しい使い方に目を向けるようにする。 ○school Taktを活用して、自分の考えの共有を図る。 ○想像を広げ主体的に読むために、動作化・劇化をするなどして、言葉に対するイメージが膨らむような指導をする。 ○文字の書き取りを繰り返し、字形に気を付けて丁寧に書くよう日常的に指導をする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ブロックや絵、図を使って考えることができた。また、立式ができた。 ○10までの数の大小・系列・何番目の構成が分かってきた。 ○絵をもとに、たし算やひき算の意味を理解することができた。絵を用いた問題作りができた。 ○1人1つの計算カードを活用し、計算の習熟を図り、答えが10までの計算ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵や図・式にかき表しながら、自力で問題を解くことができるようにする。 ○10より大きい数の構成や大小・系列を理解できるようにする。 ○自分の考えを言葉で説明できるようにする。また、なぜそうなるのかを書けるようにする。 ○正しく素早く計算ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自力解決の時間を多く取り入れる。児童の実態を把握し、個に応じた指導を行う。 ○半具体物や図を活用して、指導する。板書を見やすく整理し、教室掲示でも学習を振り返る。 ○少人数や全体で考えを交流し合う活動を多く設定し、自分の考えを表現できるようにしていく。 ○継続的に計算の反復練習をする時間を設けて、定着を図る。 ○計算ソフトを活用して計算の定着を図る。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○あさがおの観察や自然探しを通して、進んで自然と関わり合い、興味を深めることができた。 ○自然と関わり合うことを通して、たくさんの植物の成長過程の発見ができた。 ○活動したことや発見したことを、絵や言葉で表すことができた。 ○お世話になった6年生に動画を通してお礼を言い、交流することができた。 ○給食室の方たちへの質問動画作成することができた。 ○パソコンにログインして、季節の絵を描くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な動物や植物に興味をもったり、植物の成長の様子を進んで観察したりできるようにする。 ○自然のものを利用して自分なりに考えたり工夫したりして、作品に表せるようにする。 ○気付いたことや発見したこと、感じたことを、発表して交流できるようにする。 ○兄弟学級の6年生と一緒に遠足に行く2年生と進んで関わることをできるようにする。 ○自分の活動や作品を撮りため、記録できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校庭や公園などでの様々な自然観察や季節の変化に気付かせる体験的な活動を通して、動物や植物への興味・関心を高める工夫をする。 ○発見したことなどを、カードやschool Taktで表現させる。 ○見本や具体例を示し、自然のものを利用して遊ぶ道具などを作ったり、ゲームを考えたりする活動を取り入れる。 ○撮った学習活動動画を見て振り返り、内容を工夫し改善させる。 ○様々な事象に目を向け、いろいろな感覚を使って、自分なりの発見ができるように活動を工夫する。 ○校外学習や秋探し、昔遊びなどを通して、身近な人々と自分との関わりを楽しみ、よりよい生活に向けて思いや願いを実現できるよう支援する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○鍵盤ハーモニカで「ド」～「ソ」までの簡単な曲を演奏できた。 ○曲に合わせて、リズム遊びをすることができた。 ○わらべうたを通して、体を動かしながら音楽を楽しむことができた。 ○歌に合わせて、手拍子や打楽器を打つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲や歌に合わせて、考えて手拍子や打楽器を打ったりするようにする。 ○鍵盤楽器で簡単な曲を正しい指遣いで演奏できるようにする。 ○曲の雰囲気を感じ取って味わい、歌うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○季節や行事に合った歌を取り入れることで楽しく歌えるように工夫する。 ○継続的に指遣いなどの練習時間を設け、児童の実態に応じて、個別指導をする。 ○リズム遊びを通して、正しいリズムを身に付けるようにする。 ○自己のイメージを言葉に置き換え曲を味わえるように指導する。 ○演奏を動画で撮って振り返る。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が体験したことや感じたことをもとに、紙を切って貼ったり、クレパスを使ったりして楽しく作品を仕上げることができた。 ○粘土の学習を多く取り入れ、指先を使った作業をすることで、細かい作業に集中して取り組むことができた。 ○はさみやのりなどを使った作業をすることで、その使い方が上手になった。 ○色紙を並べたり重ねたりする活動を通して、自分なりの色の構成を楽しむことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを膨らませ、材料の形や色を生かしながら、工夫して丁寧に表現できるようにする。 ○自分の工夫したことを、自分の言葉で表現できるようにする。 ○友達の作品を鑑賞し、そのよさに気付くことができるようにする。 ○じっくり時間をかけ作品に取り組めるようにする。 ○ものをじっくり見て、ものの形を立体的に捉えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発想を広げやすいように、基本的な技法や用具の使い方を提示する。 ○児童が作品作りをイメージしやすいように、簡単な作品例を毎回提示する。 ○いろいろな材料を準備し、形や色のおもしろさや不思議さなどを感じて自己のイメージを作品に表せるように促す。 ○教師が児童の作品の工夫したところや良いところを取り上げることで、友達の作品を見る視点を与え、良かったところを見付けられるように促す。 ○書画カメラを利用して、作品の良いところを大きく見せる。 ○題材の指導は分かりやすく端的に行い、活動時間を十分に確保する。 ○クロッキーの時間を設け、日常的に形を捉える素地をつくっていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○集団行動の基本が身に付いた。 ○体づくり運動や用具を使っての運動遊びの仕方を知り、友達と協力して楽しく運動ができた。 ○きまりを守り楽しく水遊びができた。 ○固定施設を使って、鉄棒や登り棒、雲梯などで楽しく運動あそびに取り組むことができた。 ○50m走や反復横跳びに取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな運動遊びの仕方を知り、進んで運動できるようにする。 ○友達と協力してゲームを楽しめるようにする。 ○一人一人がめあてをもち、必要な動きを身に付け、いろいろな運動遊びに楽しんで取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな運動遊びの場を設定し、自分に合った練習の場を選んだり、自分で工夫したりできるようにする。 ○きまりや工夫を話し合わせ、仲間と力を合わせてゲームに取り組むように指導する。 ○学習カードやICT機器を使って、自分のめあてをもって取り組み、活動を振り返ることで、意欲的に、主体的に学べるよう支援する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文を読んで、登場人物の気持ちを想像することができた。 ○あいさつをすること、きまりを守ること、友達に親切にすることのよさを感じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の気持ちを想像し、考えたことを伝えられるようにする。また、書けるようにしていく。 ○友達の意見を聞いて、いろいろな考えがあることを知り、他者理解につなげるようにする。 ○自分の生活を振り返り、考えたことを伝えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材を、絵や紙芝居で提示したり、動作化を取り入れたりするなど、登場人物の気持ちになりきることができるよう工夫する。 ○強調する場面を書画カメラで写し、考えやすくする。 ○振り返りカードを使って、毎回自分の生活を振り返るようにし、考えたことを書いたり話したりする場を設ける。